

# 土浦市

TSUCHIURA City

■概要/人口: **141,986人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **672,900人**(令和3年)

■由来/土浦村(現在の稲敷郡美浦村に吸収合併)からそのまま借りたという説、土屋藩の「土」と十一の「浦」の合成地名という説や、「津々浦々」からの転訛などの説があります。

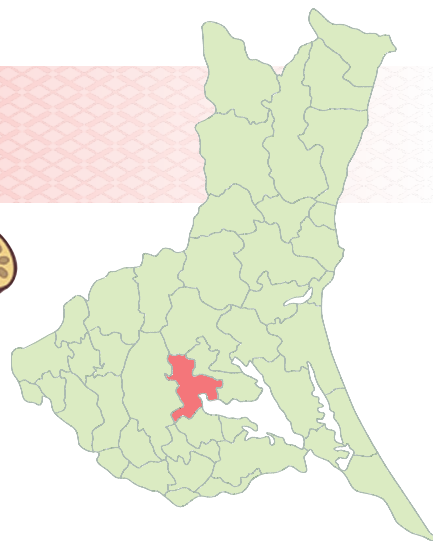
■市の花/サクラ

木/ケヤキ、ポプラ

鳥/ウグイス、ヨシキリ



つちまる



全国第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦のほとりに位置する土浦市は、江戸時代から県南の中心都市として発展し、まちなかには見世蔵や古い商家が点在するほか、土浦城址は亀城公園として堀や櫓門が残されています。秋には、約2万発の花火が夜空を彩る土浦全国花火競技大会、食の祭典カレーフェスティバルが開催されます。レンコンは、日本一の生産量を誇ります。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、りんりんスクエア土浦やりんりんポート土浦などが整備され、快適なサイクリングが楽しめます。

## 観光カレンダー

4月中旬	かすみがうらマラソン 兼国際ブラインドマラソン
7月下旬~10月中旬	観光帆曳船
8月上旬	土浦キララまつり
11月第一土曜日	土浦全国花火競技大会
11月下旬	土浦カレーフェスティバル

## 霞ヶ浦

霞ヶ浦の雄大な自然を体感

霞ヶ浦は、国内第2位の面積を持つ湖で、7月下旬から10月中旬の土日と祝日には、霞ヶ浦の夏の風物詩である観光帆曳船が運航されます。観光遊覧船のホワイトアイリス号に乗船すれば、観光帆曳船を間近で見学することができます。霞ヶ浦湖畔の霞ヶ浦総合公園には、体育館をはじめ、レストラン、ネイチャーセンターなど施設が充実しています。

スポット



## 小町の館

昔懐かしい風景が広がる

平安時代の歌人で絶世の美女とうたわれた小野小町伝説が残る地域にある直径7mの水車がシンボルの小町の館では、小野小町に関する資料などを展示しているほか、常陸秋そばが味わえます。小町の館体験館ではそば打ち体験等も行われています。また、周囲には懐かしい田園風景が広がり、気軽に楽しめるハイキングコースも整備され、週末には多くの方でにぎわいます。

スポット



## りんりんスクエア土浦

スポット



つくば霞ヶ浦りんりんロードの中心に位置する駅直結型サイクリング拠点。シャワー、コインロッカー等を備え、レンタサイクルもっており、気軽にサイクリングへ出かけられます。

## りんりんポート土浦

スポット



霞ヶ浦湖畔のつくば霞ヶ浦りんりんロード沿いに整備されたサイクリング拠点。整備・休憩スペース、シャワー、100台分の無料駐車場や緑の広場も備え、屋上テラスからは霞ヶ浦を見渡せます。

## 土浦全国花火競技大会

日本三大花火大会の一つ

大正14年、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊、経済の復興、秋の実りへの感謝と農民への慰労を目的とし、神龍寺の故秋元梅峯住職が中心となって開催したのが始まりです。全国から集まる花火師たちが、スターメイン(速射連発花火)の部、10号玉の部、創造花火の部の3部門で腕を競い合います。6分間で約2,000発を打ち上げる、大会提供のワイドスターメイン「土浦花火づくし」も圧巻です。

イベント



## 土浦カレーフェスティバル

全国からご当地カレー大集合

地元食材で日本一の生産量を誇るレンコンを活用し、カレーでまちおこしを目指して始まったのが、「土浦カレーフェスティバル」。地産地消の考えに基づき、地元産レンコンを使用したオリジナルカレーが楽しめるほか、全国各地からご当地カレー・ご当地グルメが集まり、多くの来場者が訪れる土浦の食の祭典。No.1を決定する「C-1グランプリ」は、主菜・創作の2部門で行われます。

イベント



## レンコン

お土産



土浦市は日本一のレンコンの産地です。市内では品質の良いレンコンを使った料理や加工したお菓子を販売しています。夏には、レンコン畑に蓮の花が鮮やかに咲きます。

## 亀城公園

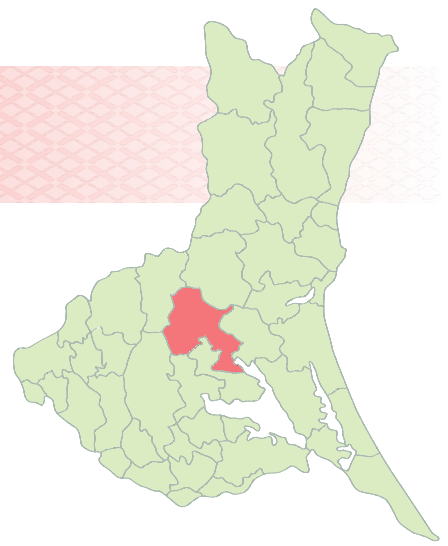
スポット



土浦城の本丸と二の丸の一部を整備した公園で東櫓と西櫓が復元されています。櫓門は当時のままで、本丸にある櫓門としては関東で唯一現存するものです。

# 石岡市

ISHIOKA City



■概要/人口: **71,812人** (令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **655,200人** (令和3年)

■由来/もともと13世紀末の常陸国衛の在庁官人の「仮名」に由来する石岡。それが「城名」→「藩名」→「町名」を経て現在の「市名」となっている呼称といわれていますが、正確には定かではないともいわれています。

■市の花/ゆり

木/椎

鳥/ひばり



古くは常陸国の中心地として栄え、商業都市として発展してきた石岡市は、霞ヶ浦と筑波山麓を有する歴史と自然を楽しめるまちです。その自然を生かしたナシ、カキ、クリ、ブドウ、ミカン、イチゴ、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛んで、シーズン中はたくさんの方が果物狩りに訪れます。また9月に行われる石岡のおまつりは、関東三大祭りに数えられるお祭りです。山域ではハンググライダーやパラグライダーのスカイスポーツを楽しむことができ、いばらきフラワーパークでは世界のバラ900品種9,000本が咲き誇ります。

## 観光カレンダー

3月下旬から4月中旬 常陸風土記の丘 さくらまつり

5月上旬 いばらきフラワーパーク 春バラ見ごろ

7月下旬 柿岡のおまつり

9月中旬 石岡のおまつり

## いばらきフラワーパーク

花と緑の楽園

見るから感じるフラワーパークに2021年4月にリニューアルオープン。900品種9000株のバラが五感で楽しめ、たくさんの方のアクティビティを体験することができます。また、自然の恵みを味わうレストランやカフェも充実。



スポット

## 看板建築

様々なデザインの建築を見ることができる

看板建築とは、主に東京や関東周辺で関東大震災後に商店などに用いられた建築様式です。具体的には、木造2階建ての店舗兼住宅で、建物の前面を垂直に立ちあげ、モルタルや銅板、タイルなどで洋風のデザイン装飾を施した建物のことを言います。無名の職人たちが、在来の技術や技能によって新たに創り上げた庶民の建築様式です。



スポット

## まち蔵 藍



江戸時代末期に建てられた木造2階建ての商家建築(染物店)で、石岡の大火を免れた貴重な建物。大火前からある土蔵も残されています。現在では観光施設まち蔵「藍」として営業中。

スポット

## 朝日里山学校



木造校舎の元小学校を活用した体験型の観光施設。地元食材を使用したピザ作りやそば打ち、田植えや野菜の収穫など自然を生かした色々な体験メニューが楽しめます。

スポット

## 石岡のおまつり

関東三大祭りの一つ

正式には「常陸国總社宮例大祭」といい、石岡にある常陸国總社宮の最も重要なおまつりです。初日には、格式高い大神輿と40台を超える幌獅子や山車が市内を練り歩きます。中日には、各所で多くの行事が行われ、中でも駅前御幸通りでは、幌獅子や山車のパレードが盛大に行われます。最終日には、再び大神輿が市内を練り歩いて大きな盛り上がりを見せ、おまつり期間中には、50万を超える見物客で市街地は大賑わいします。



イベント

## しし鍋



古くは江戸時代、しし肉は「山鯨」と称され、冬の栄養補給食として、この地で親しまれてきました。そんなしし鍋を名物として市内の飲食店で提供しています。

グルメ

## いしおかサンド



石岡市内の菓子店が地元の農産物で作ったオリジナルスイーツ。ルールは「市産品を使用」「サンドしている」「各店舗の創造性」の3つだけ。名店の個性豊かな各店自慢の味を楽しめます。

お土産

## 石岡セレクト認定商品

自信を持っておすすめ

地域経済の活性化と市の魅力発信を目的として、石岡市の特産物やおみやげ品、伝統工芸品などの中から、特に優れた商品として「石岡セレクト」として認証しました。



お土産

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

# 龍ヶ崎市

RYUGASAKI City

■概要/人口: **75,813人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **98,200人**(令和3年)

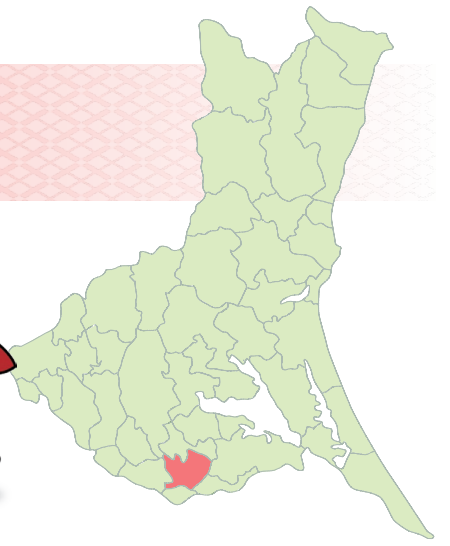
■由来/市名の由来にはいくつかの説があります。

ひとつは「竜巻が多い土地柄だったから」。他にも「龍が降ってきた地の先にあるという伝説から」。または江戸時代の学者の「町の形が龍を思わせるから」という説もあります。最後に「鎌倉時代に龍崎氏がこの地を治めていたから」といろいろな説があります。

■市の花/ききょう 木/松 鳥/白鳥



まいりゅう



市の西側に自然豊かな牛久沼があり、名物ウナギのほか近年ではブラックバス釣りのメッカとして都内を中心に関東近県から多くの釣り人で賑わいをみせます。全国の防災ヘリの訓練拠点で小型飛行機専用の竜ヶ崎飛行場や、歴史的には仙台・伊達藩の所領として繁栄した由来があり、国の重要文化財である来迎院多宝塔や国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞など珍しいお祭りもあります。コロッケでまちを盛り上げようと、商工会女性部が中心となって作り上げた「龍ヶ崎コロッケ」は、B級グルメの定番として大人気です。

## 観光カレンダー

7月下旬	八坂神社祇園祭
7月下旬	撞舞
毎月第一日曜日	まいんバザール

## カガミクリスタル

日本初のクリスタルガラス工場

日本初のクリスタルガラス工場で、すべてが熟練した職人技術での作業です。ドイツ留学した各務鎌三(かがみこうぞう)が、クリスタルガラスの美しさとグラヴィール(彫刻)など、本格的な技術を日本に紹介しました。(県伝統工芸品)

スポット



## 竜ヶ崎飛行場

様々なコースの遊覧飛行ができる

都心からアクセス2時間の飛行場です。小型機・遊覧飛行などを行っています。遊覧飛行は飛行場一周から東京一周まで17コース程あります。また、軽飛行機の拠点でもあり、パイロット操縦訓練が盛んに行われています。

スポット



## たつのこやま

スポット



龍ヶ岡地区のシンボル「たつのこやま(標高41m)」がある公園。晴れた日は、筑波山から東京スカイツリー、富士山まで一望でき、360度ひらけた関東平野ならではの景色を楽しめます。

## 龍ヶ崎森林公園

スポット



キノコ型のキャビンハウス20棟、ログハウス大小7棟、バーベキュー用かまど32基が完備されたキャンプ場です。アスレチックや遊具も充実しており、春には、約200本の桜が咲き誇ります。

## 牛久沼水辺公園

スポット



牛久沼のほとりにあり、沼の自然に触れることができる親水公園。白鳥や水辺に暮らす多くの野鳥を観察できるため、バードウォッチング・スポットとしても人気があります。「うな井」発祥の地。

## 商業まつり いがっぺ市

イベント



薬師市と産業まつり、商業まつりと一緒に合わせてできたイベント。約2kmある商店街通りを商工会加盟店やおなじみの龍ヶ崎コロッケの出店などで埋め尽くされます。

## 撞舞(国選択・県指定無形民俗文化財)

450年以上の歴史をもつ伝統芸能

450年以上の歴史をもつ伝統芸能。中国伝来の散楽を起源とし、軽業が変化したものではないかといわれています。高さ14mの柱を龍の背中に見立て、蛙が龍の背中をよじ登る様子を表わしています。蛙に扮した舞男といわれる男性が、その柱の上で逆立ちしたり、寝そべったりと妙技の限りを尽くします。雨乞いや豊穡祈願、または疫病よけの意味があるとされています。

イベント



## 龍ヶ崎コロッケ

Yahoo!ご当地メシ決定戦 2014で見事優勝

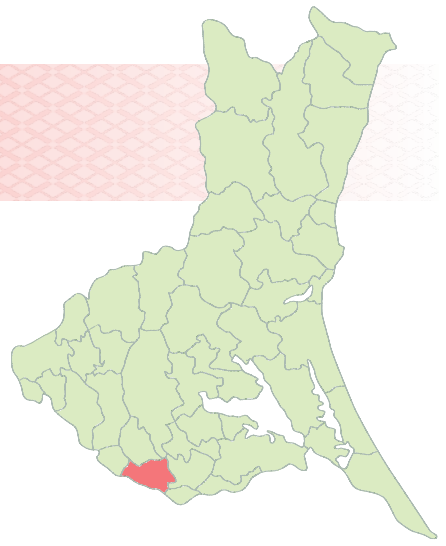
龍ヶ崎市商工会女性部有志によりスタートされた、まちおこし「コロッケ」・十余年の活動が結実し、「YAHOO!ご当地メシ決定戦2014」において、見事優勝しました。まちおこし「コロッケ」の取り組みに賛同した市内飲食店や精肉店により、平成15年1月にコロッケクラブ龍ヶ崎が設立され、令和5年6月時点で、18店舗が加盟しています。

グルメ



# 取手市

TORIDE City



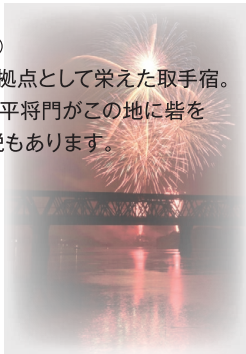
■概要／人口：**106,011人**(令和5年1月時点)

■由来／江戸時代の頃から利根川水運の拠点として栄えた取手宿。その由来となる取手は、一説には平将門がこの地に砦を築いたことに端を発したという説もあります。

■市の花／ツツジ、フジ

木／モクセイ、ゲッケイジュ

鳥／フクロウ、カワセミ



取手市の鳥カワセミ



取手市の鳥フクロウ

本県の南の玄関口として江戸時代から水運、陸運の要所となった取手市は、今でもJR常磐線、国道6号など交通の要として重要な役割を果たしています。なんといっても最大の魅力は、雄大な利根川の流れ。四季を通じて野鳥の観察ができ、河川敷を利用した緑地運動公園やゴルフ場など市民の憩いの場として、利根川と人々との関わりの深さを感じさせます。歴史にまつわる史跡なども多く残り、旧取手宿本陣、竜禅寺三仏堂、長禅寺三世堂などの見所もあります。

## 観光カレンダー

8月上旬	八坂神社例大祭
8月中旬	とりで利根川大花火
1月中旬	とりで利根川たこあげ大会
1月中旬	とりで利根川どんどまつり

## キリンビール工場見学

予約をすれば見学ツアーに参加できる

キリンビールの旨さを実感できる見学ツアーを体験できます。麦芽の試食や実際にビールの製造過程で造られる一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲など工場ならではの体験をした後は、工場直送の美味しいビールを試飲することができます。ビール工場限定のお土産も販売しています。



スポット

## 旧取手宿本陣

水戸街道に残る本陣建築

寛政7年(1795)に建築され、水戸街道に残る本陣建築では最古・最大のもです。歴代の水戸藩主との深いつながりを示す品々や、多くの古文書が伝えられています。茨城県の有形文化財として指定されています。



スポット

## 小堀の渡し



スポット

大正3年より運航開始。平成11年に取手市営のバスが運行するまで、小中学生や住民の足として活躍し、現在は小堀の住民だけでなく、誰でも乗船できる観光船になっています。

## 岡堰



スポット

江戸時代の初めに伊奈半十郎忠治により築かれ、相馬二万石の用水となりました。関東三大堰の一つに数えられ、茨城百景にも選定されています。

## 「たいけん美じゅつ場」愛称 VIVA(ビバ)

2019年12月にOPENしました。

「たいけん美じゅつ場」愛称VIVA(ビバ)は、アートを通じて、ひと・もの・情報が行き交う文化交流の拠点です。この施設は取手市・東京芸術大学・JR東日本・アトレが結んだ連携協定の取り組みの一つで、2019年12月にアトレ取手4階フロアにオープンしました。VIVAには、とりでアートギャラリー、東京芸術大学の卒業・修了作品を保存・展示するオープンアーカイブなどがあり、展示と連携したイベントなども開催しています。



スポット

## とりで利根川たこあげ大会・どんどまつり



イベント

自作風の出来栄・揚がり方を競う自作品たこあげコンクールや、手ぶらで参加できる「たこ作り教室」も開催します。新春の伝統文化を体験できる行事です。

## とりで本舗



お土産

取手のいいものを全国どこへでもお届けする、インターネットショップとりで本舗。名産品でもある奈良漬を始めとして、漬物やお煎餅など数多くの商品を取り扱っております。

## 奈良漬・漬物

西の名物を東で堪能!!

元々奈良県が発祥の奈良漬ですが、江戸時代に取手に伝わりました。利根川が運んでくれる養分豊かな水と、水はけの良い土壌が育んでくれるみずみずしい野菜、その旨さをそのまま封じ込める伝統の製法で作られています。新六本店(奈良漬)・山中屋(奈良漬)・戸祭貞次郎商店(漬物)など100年以上続く名店がその名を連ねます。



グルメ

# 牛久市

USHIKU City



■概要/人口: **84,293人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **698,200人**(令和3年)

■由来/龍ヶ崎市の金龍寺に「怠け者の小僧が牛になってしまい、沼に身投げをしました。そこから『牛を沼が食った』『牛食う沼』と変わり、その沼が牛久沼と呼ばれるようになった」という昔話が伝わっており、沼の名の由来・地名の由来となっているという説があります。

■市の花/菊 木/金木犀 鳥/鶯



牛久市は茨城県の南部に位置し、首都東京から50kmの距離にあります。JR常磐線、国道6号、圏央道とアクセスする立地条件の良さから、首都圏のなかの新しい衛星都市として宅地の開発が進み、飛躍的な発展を遂げています。また、穏やかな水面が広がる牛久沼や里山などの自然があふれる景観、国の重要文化財に指定されている日本初の本格的なワイン醸造場である牛久シャトー、ギネスブックに認定されている牛久大仏など、観光スポットも多く、国内外から多くの観光客が訪れています。

## 観光カレンダー

5月3日	うしく鯉まつり
7月下旬頃	うしくかっぱ祭り
11月上旬~中旬	うしく菊まつり
11月3日	うしくWaiワイまつり
12月~2月	ブリアントヴィルうしく

## 牛久大仏

高さ120mの大仏様

台座を含めた高さが120mあり、青銅製立像では世界一の高さを誇る牛久大仏。胎内は拝観することができ、地上85mの胸の位置にある展望台からは外を眺めることができます。また、園内には四季折々の花が咲く庭園や、小動物公園もあります。



スポット

## 牛久シャトー

日本初の本格的なワイン醸造場

明治期の洋風建築の趣きが残る赤レンガ造りのシャトーカミヤは、明治36年に完成しました。当時は、ブドウ栽培から醸造、瓶詰めまで一貫して行った日本初の本格的なワイン醸造場であり、日本のワイン発祥地の一つとして知られています。平成20年には国の重要文化財に指定されています。



スポット

## 牛久市観光アヤマ園

2万本の花がお出迎え

牛久市観光アヤマ園は昭和61年に開園しました。毎年6月には、約200品種2万本のアヤマや花菖蒲など色とりどりに咲く花が楽しめます。また、春には土手沿いの桜が、秋には園路沿いのヒガンバナが楽しめます。



スポット

## 長沼りんご園



秋にはりんご狩り、夏はブルーベリー摘みが楽しめる、エコファーマー認定農園です。自然な香りと甘さがあふれる果実が楽しめます。

スポット

## 小川芋銭記念館(雲魚亭)



小川芋銭はカッパを題材にした独特な境地の幻想画で知られています。「雲魚亭」は、小川芋銭の住まいを兼ねたアトリエを公開したもので、複製画等の展示があります。

スポット

## ヤマイチ味噌



地元の米・大豆を原料に杉の大樽で天然醸造の味噌を造る味噌蔵です。工場直売所では量り売りもできます。定期的に開催している味噌造り教室も人気です。

スポット

## うしくかっぱ祭り



昭和56年に始まったうしくかっぱ祭り。夕方から始まる「かっぱ囃子踊りパレード」は、延べ1万人を超える踊り手が参加して祭りを盛り上げます。

イベント

## とこしえ味噌かりんとう



味噌蔵ヤマイチ味噌の濃厚な赤みそを使用し、市内のかりんとう専門店コルカーノが旨味深いかりんとうに仕上げました。

お土産

## 落花生



豊かな牛久の土に抱かれて育った自慢の落花生。厳選された地元産の豆を使い、生産から加工までを一貫して行っています。

お土産

# 守谷市

MORIYA City



- 概要／人口：**70,414人**(令和5年1月時点)
- 由来／平将門がこの地に城を築いたとき、丘高く谷深くして守るに易き地ということから、守るに易き谷、転じて「守谷」となったという説があります。
- 市の花／山百合  
木／松  
鳥／小綬鶏



守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から約40km圏内にあります。常磐道やつくばエクスプレスにより、都心部とも直結、めざましい発展を遂げています。新しいまちのイメージを持ちながらも、歴史も古く、平将門にまつわる「平将門と7人の影武者の墓」や徳川家康ゆかりの長龍寺、家康水のみ井戸跡などの名跡も残されています。さらに、日本を代表する企業立地も多く、アサヒビール(株)や(株)明治の工場見学をすることができます。

## 観光カレンダー

2月下旬	守谷ハーフマラソン
5月上旬	MOCOフェスタ
7月下旬	八坂神社祇園祭
9月下旬	守谷市商工まつり
11月下旬～	もりや
12月下旬	クリスマスファンタジー

## スーパードライ ミュージアム

工場できたてのビールを試飲

スーパードライの世界観を五感で体感できる体験型施設。ミュージアム体験最後に向かう「スーパードライホール」では、試飲が可能。工場できたてのうまさを味わえます。(試飲時間は20分間。一人2杯まで。)ビール以外にも、ノンアルコールのアサヒドライゼロや三ツ矢サイダーなどのソフトドリンクも用意しています。



スポット

## 明治なるほどファクトリー守谷

ヨーグルトの製造工程を見学

乳製品でお馴染みの明治製品の工場見学ができます。牛乳・乳製品のことや、乳酸菌の働きなどを楽しみながら学ぶことができ、いろいろなヨーグルトの製造ラインを見学できます。工場で作られたヨーグルトの試食やお土産付きで小さなお子様にも人気です。



スポット

## 四季の里公園

一面に広がるアヤメなどが観賞できる

園内の池周辺に植えられた約38,800株のアヤメやハナショウブが観賞できます。毎年5月上旬から6月中旬にかけて順に見頃を迎え、写真撮影・写生スポットとして、市内外から多くの観光客が訪れます。



スポット

## 守谷野鳥のみち



スポット

利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた静かな林間と明るい湿地草原を含む総延長4キロの歩道です。ごみの持ち帰りなど案内板に書かれているルールを守り、野鳥の声や守谷の自然をお楽しみください。

## アーカスプロジェクト



スポット

国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、子どもから大人までを対象としたワークショップ等を定期的に実施し地域の活性化を図っています。

## 守谷市商工まつり



9月下旬開催の市内最大級の守谷駅前イベントです。市内中学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーラン踊りなどのステージパフォーマンスのほか、地場グルメなどのブースが集結します。

## 八坂神社祇園祭



夏に流行る疫病を祓おうということから、夏の始まりに行われるといわれています。山車がグルグルと回る姿は他の祇園祭には見られない守谷特有のものです。

## 守谷SA やさい村



スポット

「守谷SAやさい村」は、常磐自動車道上り線サービスエリア「Pasar(パサル)守谷」内にある、守谷市の生産者が運営する生鮮野菜等の直売所です。守谷市の畑で収穫された採れたて野菜などを生産者が直接販売しています。

## ミルク工房もりや



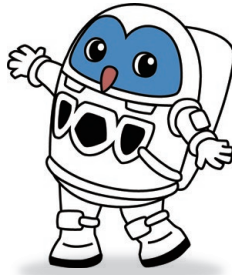
お土産

大八洲開拓農業協同組合が中心となって設立した小さな工房ですが、乳製品に対するこだわりと情熱はたっぷりです。地元産の乳製品をぜひ味わってください。

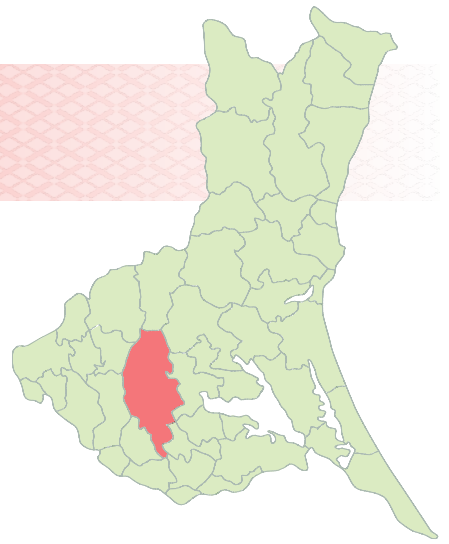
# つくば市

TSUKUBA City

- 概要/人口:**252,286人**(令和5年1月時点)  
年間観光入込客数:**2,425,700人**(令和3年)
- 由来/市のシンボリック的存在である筑波山にちなんだ名称。
- 市の花/ホシザキユキノシタ  
木/ケヤキ  
鳥/フクロウ



フックン船長



つくばエクスプレスの運行により、つくば―秋葉原間を最速45分で直結。都市基盤整備も整い、沿線には住宅立地が進んでいます。観光拠点の筑波山は万葉の時代から人々に親しまれ、筑波山神社の参拝客や登山客が通年途絶えることがありません。また平沢官衙遺跡、小田城跡など史跡をはじめ神社・仏閣も多く見所も豊富。さらにJAXA筑波宇宙センター、つくばエキスポセンター、産業技術総合研究所などの研究施設やパホール、つくば美術館など文化施設も充実。歴史と科学の調和したつくば市は将来性も抜群の都市です。

## 観光カレンダー

2月中旬～3月下旬	筑波山梅まつり
5月中旬	つくばフェスティバル
8月下旬	まつりつくば
10月下旬～11月上旬	筑波山麓秋祭り
11月上旬～下旬	筑波山もみじまつり

## 筑波山神社

日本屈指のパワースポット

筑波山を御神体とする筑波山神社。西峰の男体山頂に筑波山大神・伊弉諾尊(いざなぎのみこと)を、東峰の女体山頂に筑波山女大神・伊弉冉尊(いざなみのみこと)の二神を祀っています。また、伊弉諾尊と伊弉冉尊が結婚し神々を産み、国産みをされたことから、縁結び、夫婦和合、家内安全、子授けなどの御神徳があるとされています。



スポット

## JAXA 筑波宇宙センター



スポット

人工衛星やロケットなどの研究開発や開発試験、打ち上げた人工衛星の追跡管制、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」の運用管制、宇宙飛行士の養成などを行っています。

## 筑波実験植物園



スポット

国立科学博物館の植物研究施設で、日本をはじめ世界の様々な植物およそ3,000種類が見られます。広く一般に公開されており、温室では熱帯や乾燥地の珍しい植物なども楽しめます。

## フォレストアドベンチャー・つくば

森の中を空中散歩

フランス発祥の自然共生型アウトドアパーク。森の地形や樹木をそのまま生かし、地上10m以上の木々の間に張られたワイヤーをつたって空中移動する全11サイト73アクティビティはスリル満点です。筑波山梅林上空を100mのロングジップスライドで滑空する爽快感は最高です。また、隣接する「筑波山おもてなし館」では休憩もできます。



スポット

## 平沢官衙遺跡



スポット

今から1,000年以上前の奈良・平安時代の筑波郡の役所跡で、1980年に国指定史跡に指定されています。校倉・土倉・板倉の3棟を復元して古代空間を再現し、案内所を併設しています。

## 筑波山温泉郷



スポット

筑波山の中腹には、筑波温泉・筑波山温泉「双神の湯」の二つの源泉があります。アルカリ性の強いアルカリ性単純温泉で肌がすべすべになることから「美肌の湯」ともいわれています。

## 小田城跡

中世とよばれる鎌倉時代から戦国時代に、常陸の国(現在の茨城県)南部に勢力を持った小田氏の居城跡です。小田城跡は、その歴史的重要性及び良好な遺存状況から昭和10年に国の史跡指定を受けました。



スポット

## つくばサイエンスツアー

つくばの知を巡る!

一つの市内で多様な分野の世界最先端、世界唯一の研究開発の成果を直に見学・体感できる「つくばサイエンスツアー」は、「科学の街・つくば」ならではの魅力です。「つくばサイエンスツアーバス」は、常設展示施設を持つ市内の6研究施設を巡る1日乗り放題のバス。また土曜日にはスタッフガイド同行コースも運行しています。



イベント

## 筑波山

茨城県のシンボル

朝夕に山肌の色を変えるところから「紫峰」と呼ばれている筑波山。男体山、女体山の二峰を持つことから、生産のシンボル、神の住む山として、古くから多くの人々に信仰されてきました。また「西の富士、東の筑波」と並び称されてきた優美な姿は、多くの歌人を魅了し、「万葉集」や「小倉百人一首」などに数多く歌われています。山頂へ向かうハイキングコースには、奇岩、怪岩を巡るコースや自然研究路があり、標高871mの男体山へはケーブルカーで、標高877mの女体山へはロープウェイでも気軽に登ることができます。2016年には筑波山地域がジオパークに認定されました。



スポット

## 筑波山梅まつり

約1,000本の梅が咲き乱れる

筑波山中腹、標高約250m付近に位置し、約1,000本の梅が咲き誇る筑波山梅林で約1ヶ月に渡り開催。期間中は梅茶の無料サービスのほか、筑波山名物ガマの油売り口上披露、野点茶会、つくば観光大使によるお出迎えなど様々なイベントもあります。梅まつり限定、美味しい梅を使った料理「梅(うめ〜)食」も人気です。

イベント



## まつりつくば

つくばを代表するお祭り

2日間で約46万人が訪れる、歴史や科学など多様な文化の融合が織りなすつくばならではのイベントです。土浦学園線を通行止めにして開催される「大パレード」は、日本最大級の大きさを誇る「万灯神輿」や「ねぶた」の競演など、見どころ満載です。

イベント



## つくばラーメン激戦区

ラーメンの街つくば

つくば市内には200を超えるラーメン店があり、東京ラーメンショーでグランプリに輝いた店や、専門サイトで常に上位にランキングされる有名店など、全国的にもレベルが高い数多くのラーメンが軒を連ね、各店が凌ぎを削る群雄割拠のラーメン激戦区となっています。また、北関東最大級のラーメンイベント「つくばラーメンフェスタ」や、筑波山麓特産「福来みかん」を使用したラーメンを期間限定で店舗提供する「福来らーめん紀行」など、ラーメン激戦区ならではのイベントも開催されています。

グルメ



## つくばうどん



茨城県ではけんちん汁のそばやうどんが普段から食べられており、つくばうどんはこのけんちんうどんの一種。具材は筑波地鶏の「つくね」、地元産「黒野菜」、茨城県産銘柄豚の「バラ肉」の頭文字をとって名付けられました。

## 筑波北条米

お土産



筑波山南西側山麓一帯の水田は、関東きっての良質米産地として知られており、良質の米「筑波北条米」が生産されます。甘味と粘りが強いのが特徴で、昭和初期には皇室にも献上されていました。

## つくばコレクション

つくばの優れたお土産品

「つくばコレクション」は、つくば市を代表する優れたお土産品として、市が認証した商品です。お酒、お菓子、食肉製品、調味料など、おすすめのものばかりです。つくばのお土産は、ぜひ、右のマークを目印にお選びください。

お土産



## Farm to Table つくば



Farm to Table つくば  
ホームページQRコード



地産地消を応援するために、地元産食材を使ったレストランや、料理人、農家さんのこだわり等、つくばの食の魅力を紹介するウェブサイトです。おいしいつくばの食をみんなで楽しみましょう。

## つくばワイン

スポット



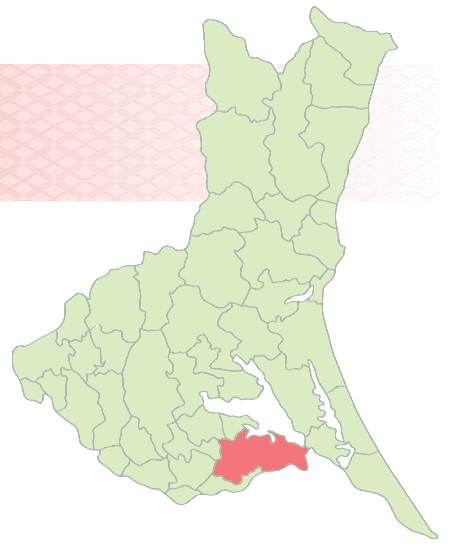
つくば市は2017年12月に、国から構造改革特区「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受けました。以降、市内に複数のワイナリーが誕生し、新たなワインの名産地として期待されています。



# 稲敷市

INASHIKI City

- 概要/人口:**38,377人**(令和5年1月時点)  
年間観光入込客数:**265,100人**(令和3年)
- 由来/大地に稲穂がそよぐ風景がより強くイメージできるなどの理由により「稲敷市」と決定しました。
- 市の花/きく  
木/さくら  
鳥/うぐいす



稲敷市は稲敷台地と広大な水田地帯からなり、霞ヶ浦、利根川、新利根川、小野川などの豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、水運と農業を主として発展した地域です。観光スポットはここで紹介する施設のほかにもゴルフ場や釣り場、自然を生かした公園など数多くあります。圏央道(稲敷IC、稲敷東IC)が開通し、東京都からのアクセスも容易となり、つくば市や成田市など周辺都市との連携もますます期待されます。

## 観光カレンダー

4月上旬	稲敷チューリップまつり
6月8日	寝釈迦の花まつり
6月上旬	ふな釣り大会
6月中下旬	江戸崎かぼちゃフェア
8月下旬	いなしき夏まつり花火大会

## 大杉神社

あんばさま総本宮

大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、正月の初詣や2月3日の節分祭には多くの参拝客が訪れ、年間の参拝者は約33万人を数えます。古くから「あんばさま」の呼び名で親しまれ、神護景雲(じんごけいうん)元年(767)に、勝道上人によって創設されたといわれています。境内にそびえ立つ2本の大杉を海や川の守り神とし、漁業関係者から信仰を集めています。また痘瘡除けの神様としても有名です。



スポット

## 横利根閘門



スポット

横利根閘門(よことねこうもん)は大正3年から約7年の大工事の末、大正10年に完成し、現在も利用されている我が国最大級の規模を持つ煉瓦造複閘式閘門です。

## 笑遊館



スポット

地域の人たちの交流の場として、また、まちに訪れた方のための休憩所や観光案内所として、平成16年にオープンしました。この施設は、古くからある鈴木屋旅館を改装したものです。

## こもれび森のイバライド



スポット

動物にさわる。自分でつくる。思いっきりカラダを使って遊ぶ。「こもれび森のイバライド」は、茨城の自然の中でたくさんの思い出を手作りできる体験型テーマパークです。東京から車で約90分のスムーズなアクセスも魅力です。

## 寝釈迦の花まつり



イベント

毎年6月8日に行われる祭りで、「腰巻おがみ」の名で広く知られています。この日には、茨城県指定有形文化財の像長約2mの珍しい寝釈迦像(釈迦如来涅槃像)も開帳されます。

## いなしき夏まつり花火大会

県内有数の打ち上げ数



イベント

毎年8月に行われる「いなしき夏まつり」(市町村合併前は「えどさき夏まつり」)は、平成8年からスタートしたお祭りです。昼はステージイベント、夜は「花火大会」を中心に開催されます。花火大会は、茨城県内有数の打ち上げ数を誇り、観客の皆さんを魅了しています。なかでもフィナーレを飾るスターメインは圧巻で、稲敷の夜空を彩ります。

## 江戸崎かぼちゃフェア

甘さも栄養価も抜群のかぼちゃ

稲敷自慢のおいしさがたっぷり詰まった江戸崎かぼちゃ。約50年にわたる生産の歴史で培われた栽培方法と厳格な検査体制を継承し、完熟収穫を徹底しています。江戸崎かぼちゃフェアでは、参加店による「江戸崎かぼちゃ」を使ったお菓子、料理などを期間限定で販売します。



イベント

## 稲敷チューリップまつり



イベント

会場には20種類10万本以上のチューリップが咲き誇ります。模擬店、動物ふれあい広場が設置されたり、特設ステージでは、郷土芸能発表や歌謡ショーなど豪華絢爛です。

## 稲しきのあげもち



お土産

一口にあげ餅といっても、「つき方」「干し方」「揚げ方」は、作る人や家庭によって種類は千差万別。「稲しきのあげ餅」とは、稲敷自慢の米を、稲敷の人が、それぞれの作り方で作ったあげ餅の総称です。

# かすみがうら市

KASUMIGAURA City



■概要/人口: **40,541人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **165,000人**(令和3年)

■由来/湖の「霞ヶ浦」。合併後にひらがな表記になりました。

■市の花/あじさい

木/くり

鳥/うぐいす



かすみがうら

西に雪入山、東に霞ヶ浦を持ち、山と湖の大自然に囲まれた美しいまちです。温暖な気候に恵まれ、梨・ぶどう・栗・柿・イチゴなどの観光果樹園が盛んで果物狩りにたくさんの方が訪れます。明治13年に折本良平氏が考案した風力による漁船「帆引き船」発祥の地でもあります。さらに水郷筑波国定公園内である景勝「歩崎」の地では、自転車レースのイベントをはじめ、カヌーやSUPなどの湖上アクティビティも盛んです。

## 観光カレンダー

5月3日、4日	かすみがうらフェスタ
8月16日	あゆみ祭り
7月下旬～11月下旬	観光帆引き船
10月中旬	自転車レースイベント
11月3日	かすみがうら祭

## 帆引き船

帆引き船発祥の地

霞ヶ浦のシンボルである帆引き船を使った漁法は、かすみがうら市(旧:佐賀村)に生まれた折本良平氏によって明治13年に考案されました。霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化遺産であることから、霞ヶ浦で昭和46年に初めて観光帆引き船として復活しました。また、平成30年3月に「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定されました。

スポット



## 果物狩り

茨城随一のバラエティ

かすみがうら市の果樹園では、一年を通して果物狩りができます。6月～8月にはブルーベリー、8月～10月にかけては梨・ぶどう。9月～11月にかけては栗・柿。12月～5月はいちごが楽しめます。

スポット



## かすみがうら市歴史博物館

お城形の博物館

開館30周年を迎えた郷土資料館が、平成29年1月1日をもって歴史博物館として新たに生まれかわりました。この博物館は昭和62年の霞ヶ浦大橋の開通に合わせ開館し、地域の歴史と文化を守り続けてきたほか、観光拠点としても市のシンボルとなっています。

スポット



## かすみがうら市水族館

平成元年に開館し、トンガリ屋根がトレードマーク。霞ヶ浦に生息する魚を中心に多種類の淡水魚を飼育しています。

スポット



## 雪入ふれあいの里公園

平成9年に採石場の跡地を利用し建設された公園で、雪入山周辺の豊かな自然や、多様な動植物の生態を間近に観察、学習できる施設です。遊歩道からは、市全体を望めます。

スポット



## あゆみ庵

抹茶と和菓子で一息いかがですか。

数寄屋造りの建物で茶室と座敷広間があり、ボランティアグループによるお茶のサービスでおもてなしをします。日本庭園には、なだらかな緑の階段をぬって流れる滝や、ひょうたん池があり、静寂の世界へと誘います。

スポット



県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

# つくばみらい市

TSUKUBAMIRAI City

■概要/人口: **53,004人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **14,000人**(令和3年)

■由来/平成18年、伊奈町と谷和原村が合併・市制移行し発足。  
市内全域が筑波郡であったこと、つくばエクスプレスの駅名「みらい平」に由来。日本一文字数の多い市名のひとつです。

■市の花/なのはな

木/さくら

鳥/ひばり



つくばみらい市のイメージキャラクター  
みらいりんぞう

緑と水の豊かな自然に恵まれた環境にあり、市の中央には小貝川、西部には鬼怒川が流れています。小貝川と福岡堰から流れる用水路の間の堤及びその周辺には、約450本の桜が1.8kmにわたって並び、開花期には見事な景観をつくることから茨城観光100選・茨城百景にも選定され、県内でも有数の桜の名所となっています。また、つくばエクスプレスの開通などにより宅地化が進んでいますが、国の重要無形民俗文化財に指定されている綱火や、江戸時代の冒険家、間宮林蔵の生家など、歴史を物語る文化や史跡なども数多く残っています。

## 観光カレンダー

1月1日~3日	初詣(板橋不動尊)
4月上旬	福岡堰さくらまつり
8月上旬	みらいフェスタ
8月下旬	綱火
11月	米コンテスト・商工感謝祭

## 福岡堰

関東三大堰の一つ

現在の福岡堰は昭和46年に完成したもので、岡堰(取手市)、豊田堰(龍ヶ崎市)とともに関東三大堰の一つに数えられます。堰周辺は桜の名所として知られ、桜並木が続く堤は、遊歩道や多目的の広場が整備され、散歩や釣りをを楽しむ人々の憩いの場となっています。堰の東側には、水辺に親しむことなどを目的とした福岡堰さくら公園が整備されています。

スポット



## ワーブステーション江戸

国内でも数少ない野外型ロケ施設

時代劇オープンセットが建ち並び、国内でも数少ない野外型ロケ施設。時代設定は、江戸時代はもちろんのこと、戦国から昭和までを幅広くカバーしており、NHKの大河ドラマや著名な映画などにも度々登場しています。施設の一般公開は行っていませんが、時折入場可能なイベントを市や観光協会が開催することがあります。

スポット



## 綱火

人形を操る伝統芸能

国の重要無形民俗文化財にも指定されている綱火は、からくり人形と仕掛け花火を結合し、空中に張りめぐらせた綱を操作し、囃子に合わせて人形を操る伝統芸能です。別名「三本綱」「からくり人形仕掛け花火」とも称し、つくばみらい市には小張松下流と高岡流の二流派が伝わっています。毎年8月下旬に豊年満作と火難除けを祈願して奉納されます。からくり人形と仕掛け花火が夏の夜空を華やかに彩ります。

イベント



## 不動院(板橋不動尊)

スポット



関東三大不動尊の一つで、正式名称は「清安山不動院願成寺」。国の重要文化財に指定されている本尊不動明王が安置されている本堂や楼門、三重塔は茨城県指定有形文化財。

## みらいっ娘

スポット



「大地の香り、食べる喜び届けます」をキャッチフレーズに「安全・安心」「地場産」にこだわり、JA茨城みなみ管内(つくばみらい市・取手市・守谷市)を中心に生産された新鮮な野菜・米加工品などを販売している農産物直売所です。

## 間宮林蔵記念館

世界地図に名を残した唯一の日本人

「間宮海峡」で有名な、江戸時代に活躍した大探検家・測量家である「間宮林蔵」を顕彰するために建設された記念館。全国各地から収集した貴重な資料や史跡などを時代に沿って紹介しています。

スポット



## トマト

お土産



小貝川沿いの地域を中心に、多くのトマトが生産されています。大玉・中玉・ミニなど生産者の栽培のこだわりと熱い思いが詰まったトマトは味が濃くてとてもおいしいと評判です。

## お米

お土産



市内を流れる小貝川沿いに「谷原三万石」と呼ばれる広大な水田地帯があり、6月の豊富な降水量や7・8月の晴天率の高さなど、栽培に適した気候で美味しいお米が育てられています。

# 美浦村

MIHO Village



■概要/人口: **14,605人**(令和5年1月時点)

年間観光入込客数: **87,900人**(令和3年)

■由来/昭和30年に木原村と安中村と舟島村の一部が合併し、霞ヶ浦を意味する「浦」と、牧歌的で美しい風光明媚な景観を讃えて「浦」の前に「美」を足し、美浦としました。

■村の花/やまゆり

木/やまざくら



美浦村マスコットキャラクター  
みほーす

茨城県内に残る2つの村のうちのひとつ美浦村。首都圏から70Km圏内と近く、茨城県南部に位置し、北部と東部が霞ヶ浦に面しています。国史跡に指定されている縄文遺跡「陸平貝塚」がある”歴史のまち”としても有名です。県内では高品質の米や野菜を生産する”農業のまち”としても有名で、オリジナルブランド米「光一点」や「美浦そだち」など独自の銘柄米を出しています。また、マッシュルームやパプリカの一大生産地としても有名です。そして日本中央競馬会のトレーニング・センターがある”トレセンのまち”としても知られています。

## 観光カレンダー

4月第2日曜日 木原城山まつり

11月3日 ”みほ”産業文化フェスティバル

## JRA美浦トレーニングセンター

競馬ファン必見の施設

昭和53年4月に開設された美浦トレーニング・センターは、約224万㎡(東京ドーム約48個分)の広大な敷地を有し、その中に南北2つのトラック型調教コース、1,200mの坂路調教馬場、競走馬スイミングプール、そして森林馬道といった様々な調教施設があります。常時2,000頭を超える競走馬が、毎日トレーニングを行っています。広報会館「ターフプラザ」は土曜、日曜開館です。



## 美浦村文化財センター

陸平研究所とも呼ばれる

国史跡陸平貝塚(おかだいらかいづか)のある陸平貝塚公園の入り口にあり、展示室では陸平貝塚はじめ美浦村内の遺跡や歴史を紹介しています。縄文土器作りや縄文クッキー作りなどの体験事業もおこなっています。陸平貝塚をできることで守り活用していこうと活動するボランティアグループ「陸平をヨイショする会」の活動拠点にもなっています。



## みほふれ愛プラザ

地域交流館

農業の振興と農村コミュニティ向上のため、村民相互のふれあいの場として平成29年にオープン。特産品を販売する地域産品直売所や子育て支援センター、多世代が自由に楽しめる交流サロン・ホールを備えています。施設内にある「かあさんの台所」は地元食材を使ったお惣菜や他市町村とのコラボ商品も販売しており、イートイン利用も可能です。



## 陸平縄文ムラまつり



毎年5月の連休や夏休みなどに陸平貝塚公園で開催する縄文イベント。体験イベントや陸平をヨイショする会主催の「縄文の森コンサート」がおこなわれています。

## 木原城山まつり



毎年4月の第2日曜日に、木原城址に整備された城山公園で開催されるお祭りです。園内には、約3万本のチューリップが見事に咲き、特設会場で様々なイベントが開催されます。

## 大山湖畔公園

国内随一の戦後跡地

昭和13年に開墾した水上機の練習航空隊施設跡地。戦後は東京医科歯科大学霞ヶ浦分院となりましたが平成9年に閉院となりました。近年、“他に類を見ない景観”が高く評価され、映画やドラマ、MVの舞台として数多く使用されています。今年7月22日に一般公開する観光施設です。



## 「糀」まちづくり美浦

美浦村6次化産品

「子ども達に素晴らしい地域をのこしたい」そんな思いで若手経営者らが集まり【糀まちづくり美浦】が誕生しました。第1弾として美浦村特産のマッシュルームやパプリカを使った【カレー】や【スープ】、【アヒージョ】など「みほふれ愛プラザ 地域産品直売所」で販売しています。「美浦村をもっと楽しく、もっと笑顔にするために！」



県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

# 阿見町

AMI Town

■概要/人口: **49,161人**(令和5年1月時点)

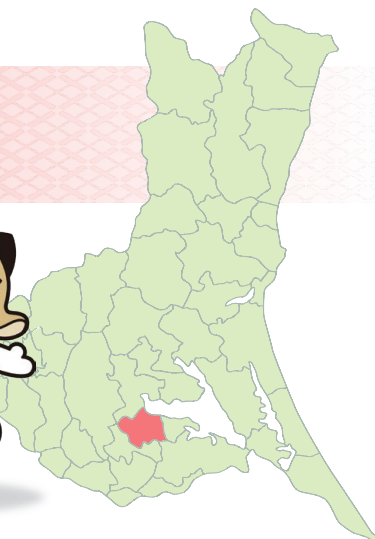
年間観光入込客数: **2,914,600人**(令和3年)

■由来/この地に和銅元年(708)に建立された阿彌神社に由来するという説が一般的。常陸国風土記に記される「皇祖の天下を經營せらるや阿彌普都、実是能く天業を補弼せり、其神功成るに及びて天に還りしと、蓋し是地に於てするや」に由来するといわれています。

■町の花/キク 木/サクラ 鳥/ウグイス



あみっぺ



霞ヶ浦の南岸に位置し、土浦市、牛久市、稲敷市、美浦村に隣接しています。町の大部分は平坦な洪積台地で、霞ヶ浦を望む台地には、町の天然記念物にも指定されている巨樹・巨木が多くあります。静かな農村地帯というイメージも大正11年に霞ヶ浦海軍航空隊が開設されたことにより一変し、第2次世界大戦までは、海軍の町として全国的に知られる存在でした。その跡地は陸上自衛隊武器学校、東京医科大学、茨城大学農学部、県立ろう学校などに利用されており、現在は文教都市として発展しました。

## 観光カレンダー

4月上旬	あみさくらまつり
8月上旬	まい・あみ・まつり
10月下旬	さわやかフェア
10月下旬	商工まつり

## 予科練平和記念館

平和の大切さを伝えている

昭和14年に、海軍飛行予科練習部いわゆる「予科練」が神奈川県横須賀から阿見に移転、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心的な役割を担うこととなりました。「予科練平和記念館」では、貴重な予科練の歴史や町の戦争の記録を保存・展示し、命の尊さや平和の大切さを伝えています。



## あみプレミアム・アウトレット

阿見東ICからすぐ近く

国内外の著名ブランド約160店舗が軒を連ねるアウトレットセンターです。いつでもお値打ち価格が嬉しいショッピングエリアに加えて、和洋中様々な名店が揃っている飲食エリアも人気。圏央道「阿見東IC」に直結した交通の便の良さ、そして、牛久大仏が見えるアウトレットというロケーションも人気です。



## 雄翔館・雄翔園



予科練出身者により設立された記念館。予科練戦没者の遺影・遺書・遺品約1,000点を収蔵、展示しています。雄翔園には予科練之碑・歌碑等があります。

## 雪印メグミルク工場見学



プロセスチーズやマーガリンを製造する阿見工場。見学コースからの製造工程の見学やVR(ヴァーチャルリアリティ)の技術を活用した視覚体験、チーズの試食などができます。

## 桜の名所



春には、町の木にもなっている桜が町内各所で咲き誇ります。茨城大学農学部や県立医療大学前の通りは、最盛期はまさに桜のトンネルのようです。

## まい・あみ・まつり



平成2年に始まったお祭りです。町民総参加による町民同士のふれあいの輪を広げる交流の場として、毎年夏の風物詩として開催されています。

## 阿見町産常陸秋そば

全国そば優良生産表彰

産学官連携で栽培が始まった阿見町の常陸秋そば。年々栽培面積を拡大し、品質の高いそばの生産地として認められました。町内各所の飲食店で阿見町産のおそばを楽しむことができます。お土産には、常陸秋そばを使用した二八そばの乾麺がおすすめです。



## 阿見グリーンメロンスイーツフェア

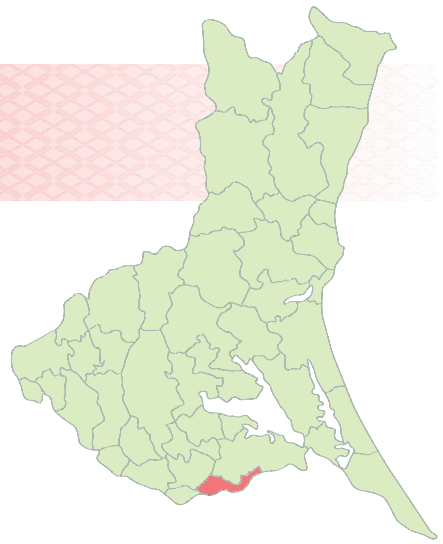
阿見グリーンメロンを使用したスイーツ

商工会が主催し、町内の菓子店やベーカリー、産直所が参加。阿見町の特産品である阿見グリーンメロンを使用したメロンパンや、メロンの果肉をたっぷり使用したスイーツなどの商品の開発&提供を期間限定で実施。毎年初夏にフェアを開催しています。



# 河内町

KAWACHI Town



■概要/人口:8,140人(令和5年1月時点)

■由来/河内の名は、河内郡に属し、利根川と新利根川に挟まれた沃地であることから、公募により選ばれました。

■町の花/あじさい

木/けやき  
鳥/ひばり



かわち丸

河内町は茨城県の最南端に位置し、都心に50km圏、筑波研究学園都市に30km、成田国際空港までは20kmの距離にあります。また、南に利根川、北に新利根川が流れ、突き抜ける青空の中に筑波山が、夕焼けの彼方に富士山を望むことができる緑豊かな美しいまちです。観光は体験型として利根川沿いにある堤防を活かしたサイクリングや利根川河川敷にある大利根飛行場の体験搭乗、グルメスポットとしては町の長竿地区にある築100年以上となる旧家をリノベーションした町の小さな拠点「長竿亭」が人気を博しています。令和4年に河内町の産業と観光の拠点となる施設「かわち夢楽」がオープンし、ますます盛り上がりを見せています。

## 観光カレンダー

11月上旬	かわちドリームフェスティバル
11月頃~1月頃	かわちイルミネーション
12月24日、25日周辺	かわちクリスマスイルミネーション

## 長竿亭

築100年以上となる旧家をリノベーションしたまちの小さな拠点です。立派な梁や蔵を見るだけでも一見の価値あり。敷地内では手打ち蕎麦や本格コーヒー等が堪能できます。



スポット

旧家「長竿邸」から「長竿亭」へ

## ワイルドスワンズアトリエ



スポット

革ブランド「WILDSWANS」のアトリエです。見学やワークショップが体験でき、併設のショップ「MARUSAN」では、ここではか手に入らない限定品も販売されています。

## 大利根飛行場



スポット

利根川河川敷にある飛行場で、軽飛行機、モーターグライダー等のライセンスの取得や、チャーター、体験搭乗ができます。体験搭乗は河内町ふるさと納税の返礼品にも採用されています。

## かわち水と緑のふれあい公園



スポット

不動免沼をぐるりと囲んだ水と緑が豊富な公園です。八重桜、さつき、クチナンなどの花が楽しみ、四季折々の風景を見ることができるので、散策にはぴったりの公園です。

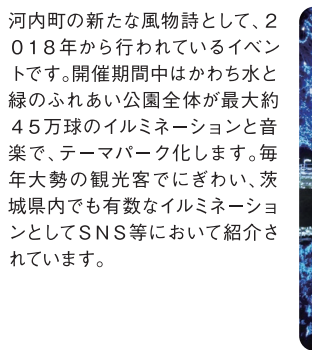
## 純米吟醸酒「星空の舞」



お土産

河内町の肥沃な大地で育てられた酒造好適米(五百万石)を原料として水戸市の吉久保酒造により作られた純米吟醸酒です。女性からも好まれるフルーティーな香りに仕上がっています。

## かわちイルミネーション



イベント

河内町の新たな風物詩として、2018年から行われているイベントです。開催期間中はかわち水と緑のふれあい公園全体が最大約45万球のイルミネーションと音楽で、テーマパーク化します。毎年大勢の観光客でにぎわい、茨城県内でも有数のイルミネーションとしてSNS等において紹介されています。

新たな光の風物詩

## 産業観光交流拠点施設 かわち夢楽

河内町の新たな施設として令和4年にオープン。農産物等直売所、サイクルステーションを併設しており、町内・町外の方の交流の拠点となっています。また、2階にはカフェがあり、そこから見える田園風景には一見の価値あり。



スポット

河内町の新たな名所

## かわちドリームフェスティバル

毎年、11月上旬に開催される河内町の大イベントです。お昼は芸能人歌謡ショー、夜はイルミネーション点灯式など一日を通して大きな盛り上がりを見せます。また、安くて美味しい食べ物や自慢の一品を販売する模擬店、町内団体による文化発表などイベント内容はバラエティに富んでいます。



イベント

河内町の大イベント

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

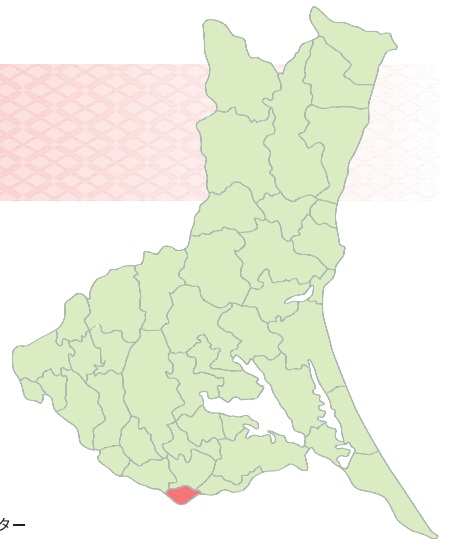
# 利根町

TONE Town

- 概要/人口：**15,409人**(令和5年1月時点)
- 由来/昭和30年(1955)1月1日、布川町、文村、文間村、東文間村の一町三村が合併した際、利根川に隣接する町であることから利根川にちなみ、「利根町」としました。
- 町の花/カンナ  
木/サクラ  
鳥/ヨシキリ



利根町観光協会イメージキャラクター  
とねりん



利根町は茨城県の最南部、千葉県との県境に位置し、都心からも40km圏内という立地から都心通勤者のベッドタウンとして栄えました。その名の通り日本一の流域面積を誇る大河「利根川」の流れとともに生きてきた水辺のまちです。町内全域には平坦な田園風景が広がり、四季折々で移り変わる自然風景が町を彩り、随所で歴史ある寺社仏閣や文化史跡にも出会える、自然と歴史に包まれた静かなまちです。主幹産業は農業で、お米を中心に、いちご、アスパラガス、花卉などを生産しています。

## 観光カレンダー

4月上旬	利根町さくらまつり
7月中旬	TONE LOTUS FES.
7月下旬(3年に1度)	布川神社臨時大祭
8月中旬	利根町民納涼花火大会
12月又は1月	トネマチ冬まつり

### 蛟蛸神社

東西に「奥の宮」と「門の宮」の社から成り、約2300年前に水神である弥図象女大神(みつはのめのおおかみ)を現在の門の宮の場所に祀ったのが始まりとされています。門の宮の鳥居は、映画「君の名は。」に登場する宮水神社の鳥居のモチーフとなった隠れた「聖地」。奥の宮の境内は厳かな雰囲気が漂う利根町屈指のパワースポットで、御朱印やオリジナルティ溢れるお守りも人気。



スポット

「君の名は。」の聖地!

### 柳田國男記念公苑



スポット

民俗学の父として知られる柳田國男が少年時代を過ごした旧小川家の母屋を再現した建物。奥の土蔵は資料館となっています。古民家のノスタルジックな雰囲気が魅力。

### 利根親水公園



スポット

1.6ヘクタールある園内では、カキツバタ、ヒメスイレンなどの水生植物をはじめ、季節ごとの花が楽しめます。池一面に広がる大輪の古代ハスは必見。・古代ハス見頃:6月下旬~7月上旬

### 利根町民納涼花火大会

利根町の夏を彩る納涼花火大会は、規模は小さいながらも、地元や近隣住民に愛される町の一大イベント。メイン会場では盆踊りをはじめとするアトラクションや、灯ろう流しがおこなわれます。利根川の川面を流れる灯ろうと花火が織りなすノスタルジックな光と水の共演は、かつて水運として栄えた利根町ならではの。



イベント

灯ろう流しと花火がコラボ!

### 利根川桜づつみ



スポット

平成17年に桜のオーナー制度によって、全長約850mに渡り整備された約180本の桜並木。春には見事な桜のトンネルとなり、毎年遠方から足を運ぶ観光客やカメラマンが訪れる桜の名所。また、土手一面に広がる菜の花も同時に楽しめます。

### 大平野生植物園



スポット

ボランティアの手により竹林を再生して造られた自然植物園。およそ1000株のヤマユリをはじめ、季節ごとの山野草観察が楽しめます。カタクリ見頃:3月中旬~下旬/ヤマユリ見頃:7月上旬

### 布川神社臨時大祭

御輿と6町6基の山車が祭囃子の軽快な音とともに町内を練り歩きます。3年に一度だけお目見えする御輿は、若衆が神社の77段の石段を7往復しながら水を浴びる「禊(みそぎ)」の儀式を皮切りに、波にもまれるように担ぎ手から担ぎ手へと渡ってゆきます。迫力の熱い夏は必見。



イベント

迫力の暑い夏は必見!

### COFFEE HOUSE とむとむ



グルメ

自社温室栽培の世界最北限といわれるオリジナルコーヒー豆「とねビーンズ」や、厳選した輸入豆を自社焙煎したこだわりのコーヒーをサイフォンでゆっくりと味わえます。メディア取材多数。

### ONO PAIN(オノパン)



グルメ

北海道産小麦粉をはじめ、選びぬかれた素材を使用して丁寧に焼き上げたこだわりのパンが魅力の人気店。

# 県南地域周遊コース



1 牛久大仏  
＜牛久市＞



2 龍ヶ崎コロッケ  
＜龍ヶ崎市＞



3 JAXA  
つくば宇宙センター  
＜つくば市＞



4 筑波山神社  
＜つくば市＞



## 茨城県の豆知識④

### 『茨城空港』

令和5年7月時点の情報です。最新の運行情報・キャンペーン等は茨城空港HPをご確認ください。  
<https://www.ibaraki-airport.net/>



#### ◇就航路線(直行便)

＜国内線＞

茨城⇨札幌 毎日2往復  
茨城⇨神戸 毎日3往復  
茨城⇨福岡 毎日1往復  
茨城⇨那覇 毎日1往復

＜国際線＞

茨城⇨上海 月・木・金・日曜日  
茨城⇨西安 火・木・土・日曜日  
茨城⇨台北(桃園) 木・日曜日

※国際線・定期チャーター便等の運航状況については、空港HPをご確認ください。



#### ◇各方面からの連絡バス

※すべて片道・現金運賃、()内は所要時間

茨城空港⇨東京駅 大人1,650円(約100～150分)  
茨城空港⇨常陸太田市高速BT 大人1,650円(約130分)  
茨城空港⇨つくばセンター 大人1,100円(R2.4～運休中)  
茨城空港⇨水戸駅 高速:大人1,100円(約40分)  
一般:大人1,160円(約65分)  
茨城空港⇨石岡駅 大人630円(約30～35分)  
茨城空港⇨新鉾田駅 大人630円(約35分)



#### ◇駐車場

最大3,600台分の無料駐車場を完備。  
何日停めても無料です。(14日以上は要届出)

#### ◇1,000円レンタカーキャンペーン

茨城空港を利用し、県内の宿泊施設を1泊以上利用される場合に、レンタカーの基本料金がキャンペーン価格で利用できます。(2024年3月31日まで)

車両クラス	利用人数	利用料金	
		国内線	
エコノミー(C)	1名	2,000円	車両クラスに応じた通常料金が加算
	2名以上	1,000円	
スタンダード(C3)	3名以上	2,000円	
ワゴン(W1,W2)	4名以上	3,000円	

#### ◇乗合タクシー(事前予約制)

茨城空港発着の航空機を利用される場合、航空ダイヤに合わせたバスが運行されていない地域でもお得に利用ができます。

※全てのルート片道料金 ※乗車人数により料金が異なります。(下記は全て3人以上利用時)

茨城空港⇨つくば市 2,000円/人～  
茨城空港⇨土浦市・かすみがうら市 1,500円/人～  
茨城空港⇨神栖市・鹿嶋市 2,000円/人～  
茨城空港⇨潮来市 1,500円/人～